

# 新聞に掲載されました

日本農業新聞 平成28年11月25日発行

当院の「産科病棟見学の  
取り組み」が新聞に掲載  
されました。  
今後も妊婦の方はもちろ  
ん、そのご家族も安全、  
安心に出産を迎えられる  
ようお手伝いさせていただきます。



## 総合病院で安心出産を

【愛知・あいち豊田】JA愛知厚生連豊田厚生病院(豊田市)は今年、産科病棟の事前見学会を始めた。地域外に移り住んだ人の「里帰り出産」希望があることや、周辺地域に若い世代が増えたことに着目。総合病院ならではの利点を説明し、地域貢献につなげていきたい考えた。

### 愛知厚生連豊田厚生病院



## PRへ事前見学会

同病院での出産を考え、水・金曜日の午後3時30分制。看護師や助産師が院にいる妊婦を対象で、分り同4時の完全予約。内を案内する。

病室の説明をする看護師(愛知県豊田市)……陣痛から分娩(ぶんべん)、産後の回復までと同じ部屋で過ごす態勢で、妊婦の負担を減らしていることを紹介。多くの専門医がいるため、妊婦が何らかの病気を抱えていても安心できるという総合病院ならではの特色も説明する。

里帰り出産を予定している妊婦やその家族からの問い合わせがきっかけで発案した。出産件数を増やそうと、院内に立ち上げたプロジェクトチーム(PT)が中心になり企画を練った。PTは医師、看護師、助産師、事務担当者ら8人で構成する。同病院は2008年の移転新築以降、周辺で住宅やマンションの建設が進み、若い世帯が増加している。PTはこれらの若い世代へ向け、病院広報誌「カモメイト」で出産の特集記事を組んだり、パンフレットを作成し、JA施設などに設置したりしている。プロジェクトメンバーの井口多恵子看護課長は「総合病院での出産は合併症がある人しかできない」といった認識が妊婦にあると聞いたことがあるが、総合病院の良さを広く知ってもらい、安心して出産を迎えてもらいたい」と話す。

